

授業科目 助産学実習 IV

【担当教員名】 下山 博子 他		対象学年	4	対象学科	看護（助産師コースのみ必修選択）
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	8	時間数	360
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要】 分娩期から産褥・新生児期にある対象者とその家族に対する助産活動に必要な実践力を養う。					
【学習目標】 1. 10例の正常分娩を介助する。 2. 出生直後の新生児のケアを実践する。 3. 介助したの褥婦と新生児を受け持ち、助産過程を用いて必要な看護を実践する。 4. 助産管理業務の実際をととして助産師の役割を学ぶ。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1～	分娩介助、助産過程	1, 2, 3, 4	産婦人科医療施設で正常分娩を介助する、担当：塚本 康子 他		
1～	助産業務管理	1, 2, 3, 4	助産院実習で助産業務管理の実際を学ぶ、担当：塚本 康子 他		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		必要時提示する。			
その他の資料					
【評価方法】 助産過程の実際、実習記録、姿勢、出席状況から総合的に評価する。		【履修上の留意点】 ケースにとっては人生においてとても大事な出産です。受け持たせていただくことに感謝しながら、1人1人のケースを大事にしてほしい。			